

令和元年度 秋季特別展

高島の

くらしと民具



10月31日(木)~11月10日(日)

高島市教育委員会

令和元年度 秋季特別展 高島のくらしと民具

10月31日(木)～11月10日(日)
9:00～16:30

※11月5日(火)は休館

最終日(11月10日)は15:30までとさせていただきます。

藤樹の里文化芸術会館 展示室1

入場無料



水辺のくらし

琵琶湖や内湖で行われたオイサデ漁やタツベ漁の道具、内湖から水田に水を入れる竜尾車・竜骨車と呼ばれる揚水道具などを展示します。

職人と技

安曇川地域での硯作り、十八川の箕作りのほか、小原籠と呼ばれる湖北の余呉町で作られた籠等を紹介します。

織と布

植物繊維から糸を取り、機織りをして布を作るのは農閑期の重要な仕事でした。現在では使われることのなくなった麻蒸し桶、糸車、機織り機等を展示します。

多彩な食文化

発酵食作りには欠かせない桶や樽、また、おめでたい日の食事に用いられた江戸時代のお膳、お椀なども見どころです。

特別展関連体験講座

機織り体験&スカリ作り

- ▶講師：辻川 智代さん（琵琶湖博物館特別研究員）
- ▶日時：11月2日(土) 13:30～16:00
- ▶会場：藤樹の里文化芸術会館 練習室1
- ▶参加料：200円

先着20名!

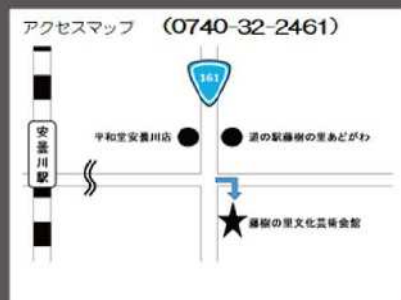
お申し込みは高島歴史民俗資料館へ!

- 特別展で展示中の機織り機を使って、実際に機織り体験をしてもらう体験会を開催します。
- 機織り体験の合間にスカリ（紐編み運搬具）を編み、出来上がった作品はお持ち帰りいただけます。

滋賀県の北西部一帯に広がる高島市には、古くからの山地のくらし、平野のくらし、水辺のくらしが伝わっています。また、それぞれの場所では、その自然条件、地理的条件にあった特徴的な道具が使われてきました。

そうした民具の数々を展示し、高島市に伝わったくらしと知恵をご紹介します。

📍 アクセス▶藤樹の里文化芸術会館
滋賀県高島市安曇川町上小川106番地



高島歴史民俗資料館

滋賀県高島市鴨 2239

Mail:shiryo@city.takashima.lg.jp

TEL:0740-36-1553/FAX:0740-36-1554

お申し込みは
こちら⇒⇒



平成31年度文化庁文化芸術振興補助金
(地域文化財総合活用推進事業)